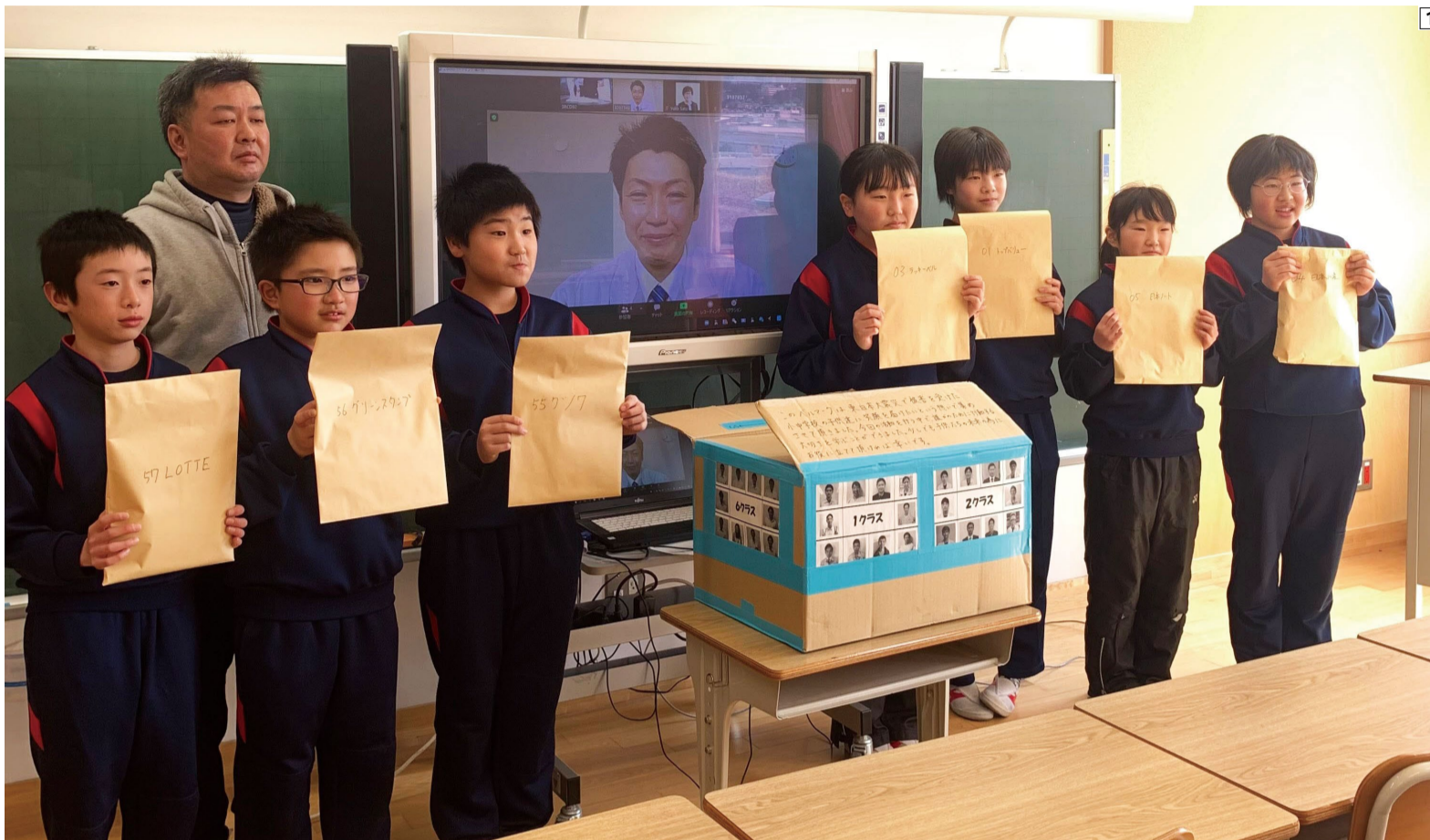


## ベルマーク新聞 6月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表)  
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

## トヨタの若手社員が被災地に寄贈

 岩手・大船渡市の学校へ累計200万点以上

①2020年度は大船渡市立赤崎小に寄贈された  
②仕分け・集計は受講生たちが行う  
③寄贈をコーディネートした佐藤優子さん

トヨタ自動車(本社・愛知県豊田市)の若手社員がベルマークを集め、東日本大震災で被災した岩手県大船渡市の学校に毎年寄贈しています。2020年度も27万余点を寄贈。贈ったベルマークの累計は200万点を超えました。

同社の研修「技能専修コース」の受講生による活動です。設計や工場生産などの部門で将来のリーダーを育てるために毎年実施されています。

東日本大震災の後、トヨタ自動車はグループ会社をあげて、社員たちが被災地支援のボランティアなどに携わりました。その中で、この研修コースの受講生も募金活動を始めましたが、2014年度からベルマーク収集に切り替え、活動を続けています。

2020年度は20代半ばの社員60人が4月下旬から3カ月半、研修施設に集まって学びました。その過程で、受講生で作る委員会(10人)が中心になり、研修施設内にベルマークの回収箱を置き、ポスターを貼って収集を呼びかけました。さらに受講生各々が家族、友人、職場、実習先へと呼びかけて協力の輪を広げられました。

研修の事務局を担当するトヨタ技能者養成所のチーフエキスパート・長岡享史(たかひと)さんは「協力者を増やしながらか自分たちの思いを広げる、というベルマーク活動は、今後の仕事に生かすことができる」と話します。受講生からは「誰かのために役に立てると実感」「研修後も自分たちができることを続けていきたい」との声があったそうです。

集めたベルマークは受講生が仕分け・集計し、トヨタ自動車の社会貢献推進部を通じて、大船渡市内の学校に贈られます。2020年度の寄贈先は市立赤崎小学校(細川佳紀校長、児童119人)で、今年3月17日にオンラインで寄贈式が開かれました。

研修のアドバイザーを担当したトヨタ自動車の渡辺超(たかし)さんが「マークをぜひ有効に使って」と話し、赤崎小からは児童会の代表がお礼を伝えました。届けられたベルマークの箱には、側面に受講生全員の顔写真が貼られていたそうです。「子どもたちに笑顔届けたいという想いで集めました」とのメッセージも添えられていました。

赤崎小は震災時に津波で校舎が全壊。その後、他の学校と統合して高台の新校舎に移りました。震災から10年経ちますが、細川校長は「心のケアはまだ必要」としたうえで「支援はありがたいこと。遠くにある愛知との絆を感じます」と話します。

ベルマークの寄贈は、大船渡市に拠点を構える商社「カメラ社中」の代表取締役・佐藤優子さんがコーディネートしました。大船渡の出身で、震災当時の職場や自宅は津波を免れましたが、甚大な被害を受けた町を目の当たりにしたそうです。

社名の「カメラ」は大船渡市の花ツバキの別名、「社中」は坂本龍馬がつくった「亀山社中」が由来です。「ここ大船渡で、物や人同士をつなぐ商社に」との思いから、仲間と一緒に名付けたそうです。「津波は一瞬で大切なものを奪い去りましたが、新しいご縁を運んで来てくれました。その一つがベルマークです」と佐藤さんは語りました。

トヨタ自動車のみなさん、ありがとうございました!!

トヨタ自動車のみなさん、ありがとうございました!!



## 財団事務所を東京・両国に移転します

 現在の事務所は18日(金)で閉鎖

ベルマーク財団は、いま東京・築地にある事務所を両国に移転します。6月21日(月)から新事務所で業務を始めます。新しい住所と電話番号は次の通りです。

〒130-0026 東京都墨田区両国3-25-5  
JEI両国ビル9階  
TEL 03-5638-2320 fax 03-5638-2321

ホームページのURLやメールアドレスは変わりません。今の事務所は6月18日(金)で閉鎖します。それ以降に到着する荷物は新住所にお送り下さい。

ベルマーク財団は1960年に財団法人教育設備助成会として発足しましたが、そのときの事務所は東京・有楽町にあった朝日新聞の旧社屋内に設けられました。4年後に事務所は銀座に移転。そこで長らくベルマーク運動をすすめてきましたが、入居していたビルの建て替えに

伴い2013年、いまの築地に移転しました。今度の両国は、事務所としては4カ所目になります。

東京の下町・両国は、大相撲の興行がある国技館があり、相撲の町として知られています。財団の新事務所は、JR駅をはさんで国技館と反対側にありますが、職場の窓からは特徴のある国技館の大屋根がよく見えます。

歴史と伝統のあるこの地で、ベルマーク財団は再スタートします。